

③ 期 日 昭和52年8月1日～8月2日

④ 会 場 郡山市立橋小学校

⑤ 講 師
福島映画社社長 今 泉 嘉一郎

⑥ 参 加 者 123名

⑦ 内 容

ア 課 題

児童又は生徒の障害の状態及び能力に即し、国語科の指導を効果的に行うためには、どのように指導計画を作成し、どのように指導したらよいか。

イ 研究発表並びに研究協議

ウ 講師による指導講演

○ CMの現状について

福島映画社社長 今 泉 嘉一郎

(5) 昭和52年度養護教育担当教員研修会

① 目 的

県内の養護教育担当教員（新担任及び1～2年の経験者）を対象として、養護教育に関する講義・演習を行い養護教育に対する基礎的教養を高める。

② 主 催 福島県教育委員会

③ 期 日 昭和52年8月8日～8月10日

④ 会 場 福島県教育センター

⑤ 講 師

国立特殊教育総合研究所

精神薄弱教育研究室室長 小 口 勝 美

伊達郡霊山町立泉原小学校教頭 星 輝 男

⑥ 参 加 者 110名

⑦ 内 容

ア 講 義

○ 心身障害児教育について

国立特殊教育総合研究所

精神薄弱教育研究室室長 小 口 勝 美

○ 精神薄弱児特殊学級における学習指導上の問題点をめぐって

伊達郡霊山町立泉原小学校教頭

星 輝 男

○ 養護教育の課題と施策

県教育庁養護教育室長 栗 村 道 彦

○ 本県における養護教育の現状

養護教育室指導係長 中 丸 良 彦

○ 私と障害児教育

小・養護学校より依頼した助言者

イ 研究協議

学習指導上の諸問題について

学級経営上の諸問題について

(6) 特殊教育諸学校寄宿舎指導研究協議会

① 目 的

県立盲学校、聾学校及び養護学校の寄宿舎における、児童生徒の指導上の問題点等について研究協議して解明を図り、もって舎監及び寮母の資質の向上を図る。

② 主 催 福島県教育委員会

③ 期 日 昭和52年8月11日

④ 会 場 福島県立平養護学校

⑤ 講 師

国立久里浜養護学校文部教官教諭 久 保 恒 義

⑥ 参 加 者 38名

⑦ 内 容

ア 研究協議

○ 学校と寄宿舎と家庭の連携はどうあるべきか

イ 講師による指導講演

○ 国立久里浜養護学校の寄宿舎生活について

国立久里浜養護学校文部教官教諭

久 保 恒 義

(7) 福島県立聾学校学習指導法講習会

① 目 的

聾学校の教育課程に関する諸問題について、研究協議し、学習指導の改善に資する

② 主 催 福島県教育委員会

③ 期 日 昭和52年9月19日

④ 会 場 福島県立聾学校平分校

⑤ 講 師

聴覚障害者教育福祉協会 事務局長

林 次 一

⑥ 参 加 者 23名

⑦ 内 容

ア 研究協議

○ 効果的な漢字指導

イ 講師による指導講演

○ 言語指導について

聴覚障害者教育福祉協会事務局長

林 次 一

(8) 聾学校小学部中学年国語科担当教員講習会

① 目 的

聾学校小学部中学年国語科担当教員の資質の向上を図り、その教育の充実に資する

② 主 催 文部省

③ 期 日 昭和52年9月20日～9月21日

④ 会 場 国立教育会館

⑤ 派 遣 者 福島県立聾学校 2名

〃 福島分校 1名

〃 平分校 1名

(9) 東北・北海道理療科教育研究大会

① 目 的

東北・北海道地区盲学校等理療科教育の振興、改善を図る。

② 主 催 東北・北海道理療科教育研究会

③ 期 日 昭和52年9月28日～9月30日

④ 会 場 飯坂保養所「あづま荘」

⑤ 講 師

東京教育大学・筑波大学教授 芹 沢 勝 助

⑥ 参 加 者 35名

⑦ 内 容

ア 研究協議

○ 保健理療実習Ⅱの取り扱いについて

イ 講 演

○ 理療の現状と将来への展望